

感想文

相川 広秋

台高山脈は、1,300m級の山々が連なっており、久々の1,000m超えの山行となった。天候は曇り／晴れの日で、風も弱く絶好の登山日和であったが岩肌や木々は濡れており、滑りやすくなっている。また、沢や木橋を渡る箇所も数箇所あり、細心の注意を払わねばならなかったのだが、岩の上で一回滑って尻もちをつき、沢でバランスをくずして水の中に。靴の中は水浸し。ああ・・・これから、もっと気を付けよう。

伊藤典子

登山口近くでスズメバチの襲撃(ビックリ!)に会いコース変更となりましたが、途中の渡渉にスリル感を味わい、明神平から見る周辺の山々の紅葉に癒されました。ただ、蜂に刺された方々が心配です。大事に至りませんように。

山下 隆

聞きなれない赤ゾレ山に期待したが蜂の全面戦争に出くわし、明神平に変更するも又これもよし。小生はハチに弱い。刺されて顔面腫れて入院寸前もあった。雨具をつけて蜂の住いをそっと通過する知恵もいただいた。明神平は冬にしか行ったことがなかったが、秋は初めてで、8合目以上では今年初めての紅葉への出会で嬉しい。登山道は冬よりはずっと難路で、振り返るといつも小生の後ろにはピッタリ後続が続いていた。道路で慎重運転していると、後ろに車を沢山つなげているのと同じで、苦笑する。CL・班長さんには勿論、大又の狭い林道の安全運転にも感謝でした。

米田佳子

スズメバチ 恐怖忘れる ニシキかな
綺麗な紅葉でしたね。雪山も行ってみたいです。

山本浩恵

スタート直後のアクシデントで皆さんにご迷惑、お世話をおかけしてしまい、心苦しい山行でしたが、なんとか皆さんと同じ行動ができたこと感謝しています。いつか赤ゾレ山、リベンジしたいです。

佐々木康治

疲労困憊して明神平到達、ホッと一息ついていると、後から登って来た天王寺高校の女子生徒たちが芝生の上を飛び跳ねるように駆けていく。疲れを知らない子供たち、彼我の年齢差は半世紀以上、「コンチワー！」との大声の挨拶に若さが蘇った。

